

～第2回行方市まち・ひと・しごと創生本部会議～

(1) 行方市総合戦略改定版(案)について

行方市企画部政策秘書課 政策秘書グループ
令和3年11月10日(水)



(1) 行方市総合戦略改定版(案)について

■ 経過について

☐ 概要について

☐ 今後のスケジュール



経過について

令和2年度

R2.9.26

第1回なめがた
市民100人委員会

- ・総合戦略の概要
- ・市の現況の説明

R2.11.8

第2回なめがた
市民100人委員会

- ・OB・OGからの活動報告
- ・分科会に分かれての議論

R2.1.30

オンライン
意見交換会

- ・新型コロナの影響
による延期に伴い、
オンラインでの意見
交換

令和3年度

R3.4.26

第1回なめがた未来の
まちづくり協議会

- ・総合戦略の今後の
方針について説明

R3.5.30

第3回なめがた
市民100人委員会

- ・班の再構成
- ・関係各課と基本目
標の議論

R3.6.27

第4回なめがた
市民100人委員会

- ・関係各課と基本目
標の議論

R3.7.7

第2回なめがた未来の
まちづくり協議会

- ・総合戦略(骨子)に
ついての意見聴取

R3.7.17

第5回なめがた
市民100人委員会

- ・関係各課と基本目
標の議論

R3.8.27

(書面)第6回なめがた
市民100人委員会

- ・総合戦略改定版(素案)・
デザインの意見集約

R3.9.9

第1回行方市まち・ひと
・しごと創生本部会議

- ・総合戦略改定版(素案)の
意見聴取

R3.10.7~11.5(30日間) パブリックコメント

R3.10.19

第3回なめがた未来の
まちづくり協議会

- ・総合戦略改定版
(素案)の意見聴取

R3.11.10

第2回行方市まち・ひと
・しごと創生本部会議

- ・総合戦略改定版(案)の確
認



経過について(第1回創生本部以降)

パブリックコメント

- 期間： 令和3年10月7日～11月5日 30日間
- 意見数： 1
 - 基本的な内容については賛同出来るが、新たな市役所庁舎建設には反対する。
立場を越えた多くの市民の方々の、多種多様な御意見に真摯に耳を傾け、慎重に慎重を重ねた議論を踏まえた上で、最終的な判断が求められるのではないだろうか。



経過について(第1回創生本部以降)

第3回なめがた未来のまちづくり協議会

- 期日： 令和3年10月21日(木)
- 協議を受けて変更した点
 - 3つの基本理念
 - 今回の改定の過程で意見があり、「行方市ならではの市政運営」に表現を改めたが、本協議会の意見により、基本理念は変えないでもらいたいとの趣旨を鑑み修正を行った。

行方市なら
ではの市政
運営



身の丈に合っ
た市政運営



(1) 行方市総合戦略改定版(案)について

☐ 経過について

☒ 概要について

☐ 今後のスケジュール



概要について

将来像

笑顔で住み続けたいまち、行方

～「行方ならではの価値の共有」を高めるために～

3つの基本理念

「継続」から
「変革」へ

みんなが主役
のまちづくり

身の丈に合っ
た市政運営

5つの重点プロジェクト

- ①働く場の拡大プロジェクト
- ②健康で文化的なまちプロジェクト
- ③住みやすい地域プロジェクト
- ④みんなで育むプロジェクト
- ⑤情報発信で日本一プロジェクト





重点プロジェクトを横断する新たな視点

社会情勢・環境の変化により生じる課題を解決していくために、各重点プロジェクトで横断的に取り組む新たな視点を盛り込んでいる。

5つの重点プロジェクト

- ①働く場の拡大プロジェクト
- ②健康で文化的なまちプロジェクト
- ③住みやすい地域プロジェクト
- ④みんなで育むプロジェクト
- ⑤情報発信で日本一プロジェクト

新しい生活様式
への対応

多様な人材の活用
促進

デジタル技術の活用

SDGs達成に向けた取り組み



概要について

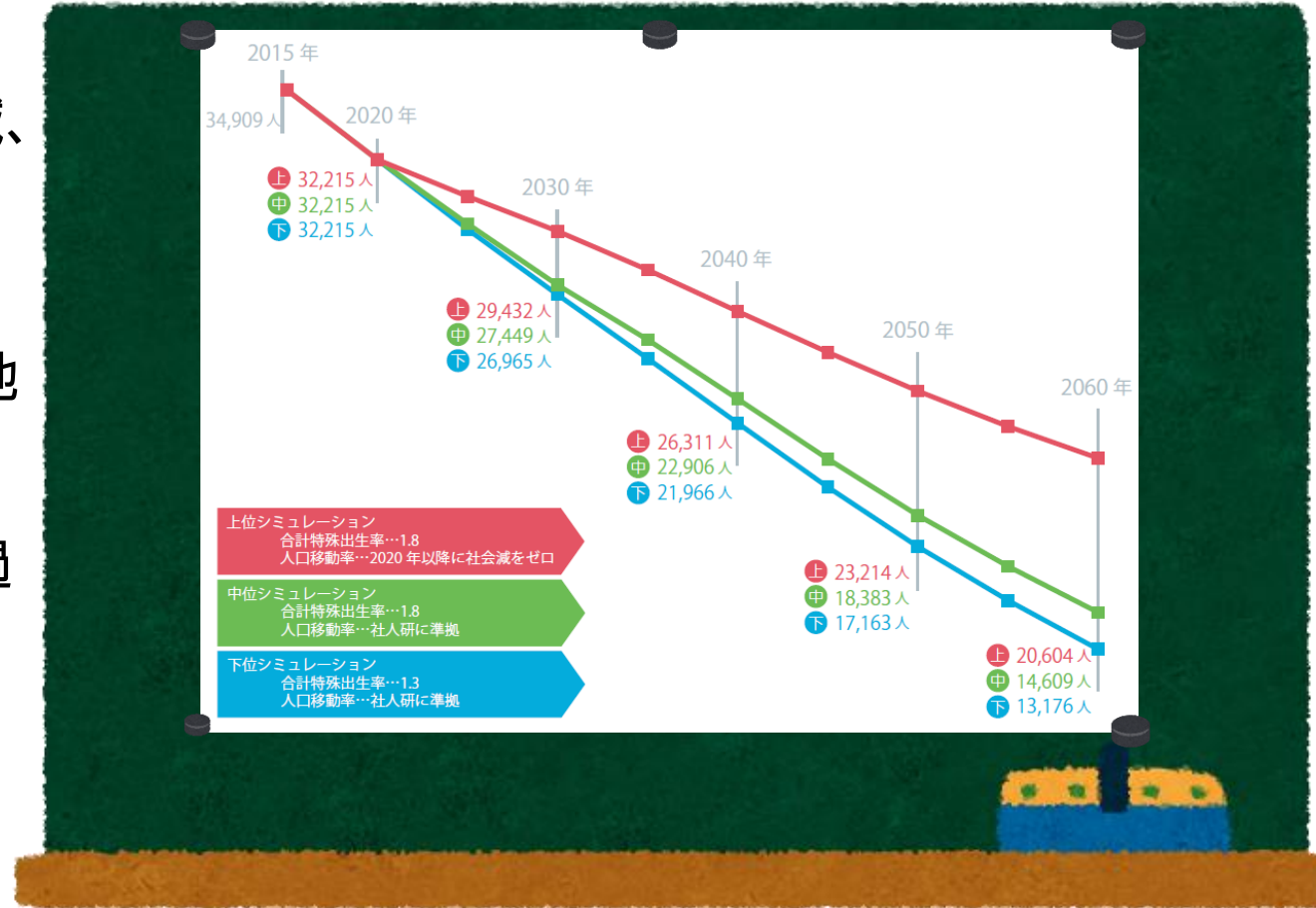
☞ 人口増減には、合計特殊出生率と人口移動率が自然増減、社会増減に大きく影響する。

☞ 人口減少は、地域社会の担い手が減少するだけでなく、地方の経済も縮小してしまう。

☞ 行方市の麻生地区が一部過疎地域に指定されるなど、人口減少の危機感を持ち、最小限の抑制に取り組まなければならない。

人口ビジョン

将来人口のシミュレーション
(国立社会保障・人口問題研究所による将来人口の推計を参考に独自のシミュレーションを示す)





概要について

11の基本目標と、それに基づく34の施策 ～成果指標で進捗管理～

将来像 3つの基本理念

①働く場の拡大
PJ

②健康で文化的
なまちPJ

③住みやすい地域PJ

④みんなで育むPJ

⑤情報
発信で
日本一
PJ

01 基幹
産業である農業を
盛り上げる

02 地域
根差した産業を活
性化し、「働く場」
を確保する

03 日本
一「元気で包容力
のある地域」をつ
くる

04 市民
が安心できる医療
体制を維持する

05 住み
やすい環境を整備
する

06 市民
ニーズにあった公
共交通を実現する

07 公共
交通、インフラを
持続可能にする

08 子ど
もを生みたい希望
を叶え、住みたい
まちをつくる

09 子育
てしやすい地域に
する

10 新た
な価値を創造し、
郷土と社会の未来
を切り拓く人材を
育成する

11 全市
民が情報発信源と
なり、情報発信日
本一の市を目指す



概要について

5つの重点プロジェクト

①働く場の拡大プロジェクト

基本目標01:基幹産業である農業を盛り上げる

- ・ 就業者および就農希望者への支援
- ・ 耕作放棄地の解消
- ・ なめがたブランドの構築



基本目標02:地域に根差した産業を活性化し、「働く場」を確保する

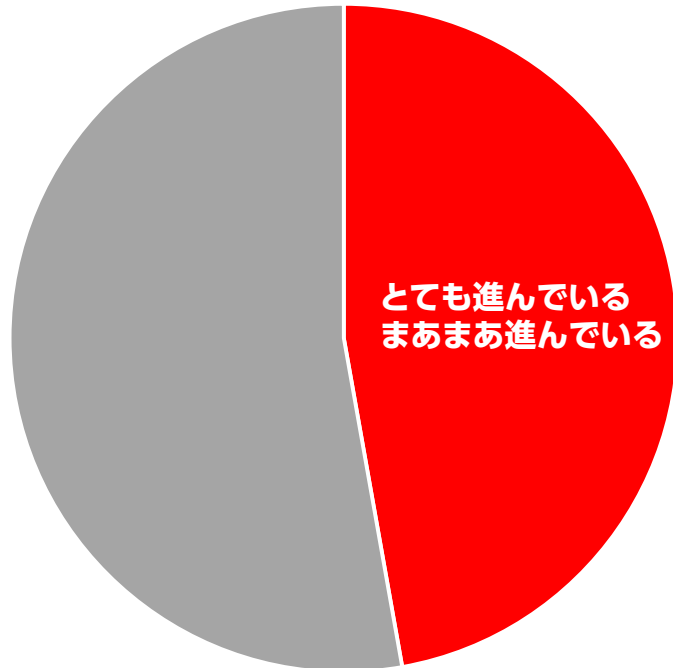
- ・ 働きたい人が働ける環境づくり
- ・ 近隣市町村と連携した水辺周辺の賑わいづくり等の展開
- ・ サテライトオフィス・テレワークに対応したスペースづくり



補足：行方市民意識調査結果(R2実施)より

Q：総合戦略に記載している5つの重点プロジェクトに基づく「基本目標」は5年前に比べてどの程度進んでいると感じますか？

基幹産業である農業を盛り上げる



47.2%

11個の基本目標の中で一番高い割合



なめがたファーマーズヴィレッジや農
林水産祭天皇杯受賞が影響している
と考えられる



概要について

5つの重点プロジェクト

②健康で文化的なまちプロジェクト

基本目標03:日本一「元気で包容力のある地域」をつくる

- ・ 健康への関心・行動を高める
- ・ 健康づくりと連携した地域でのスポーツ活動の充実

基本目標04:市民が安心できる医療体制を維持する

- ・ 救急医療の維持、地域医療体制の充実
- ・ 地域医療と介護の連携推進





補足：行方市民意識調査結果（H28～R2実施）より

Q：日頃から健康のために気を付けていることを次の中から選んでください。

※回答割合トップ3

No.1 **食事や栄養**のバランスに気を付けている

No.2 定期的に**健康診断**を受けている

No.3 十分な**睡眠や休養**をとっている



5年間のこの割合の傾向が変わっていなかった



概要について

5つの重点プロジェクト

③住みやすいまちプロジェクト

基本目標05:住みやすい環境を整備する

- ・ 住みやすい地位づくりの推進
- ・ 地域の特色を生かした定住支援
- ・ 地域包括ケアシステムの構築及び推進
- ・ 障がい者スポーツ教室等の実施

基本目標06:市民ニーズにあった公共交通を実現する

- ・ 地域全体で支える公共交通の実現

基本目標07:公共施設、インフラを持続可能にする

- ・ 持続可能な公共施設・インフラの整備

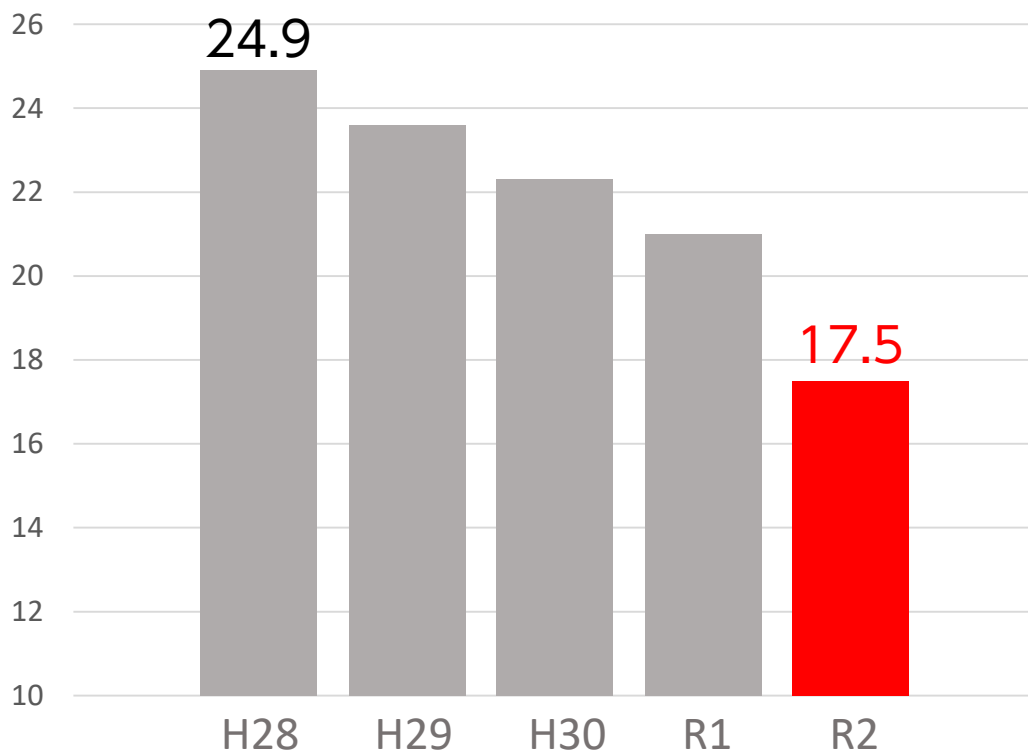




補足：行方市民意識調査結果（H28～R2実施）より

Q：行方市の「住み心地」についてどう感じていますか？

住みやすいと答えた人の割合



5年間で

7.4pt
低下



住みやすい・どちらかといえば住みやすいとの合算では大きく変化ないものの対策が必要



概要について

5つの重点プロジェクト

④みんなで育むプロジェクト

基本目標08:子どもを生みたい希望を叶え、住みたいまちをつくる

- ・ 交流人口の増加、希望の出生数を実現できるような支援
- ・ 家庭児童相談の充実

基本目標09:子育てしやすい地域にする

- ・ 保育園・認定こども園・放課後児童クラブの充実
- ・ 切れ目のない育児相談体制の充実
- ・ 地域力を生かした子どもの居場所づくり

基本目標10:新たな価値を創造し、郷土と社会の未来を切り拓く人間を育成する

- ・ 地域社会全体で子どもたちの生きる力を育む
- ・ 地域・学校・家庭で連携した家庭教育支援の充実
- ・ 生涯を通じた自立的な学びを支える環境整備
- ・ 確かな学力・豊かな心を育む教育の推進
- ・ 保護者ニーズに沿った幼児教育と公立幼稚園の適正配置
- ・ ICT教育の推進
- ・ 多文化共生社会の実現に向けた学習と地域活動の推進

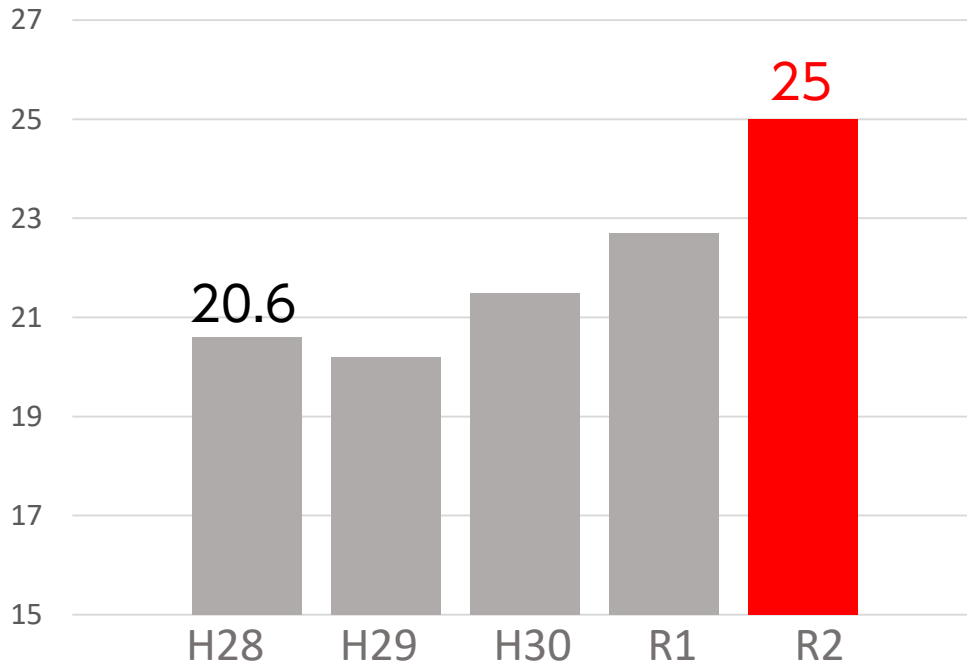




補足：行方市民意識調査結果（H28～R2実施）より

Q：安心して結婚・妊娠・子育てができる地域になるためには、何が必要だと思いますか。

安心して妊婦、子どもが受診できる病院、診療所



5年間で

4.4pt
上昇

住みにくい理由としても「医療施設が不足している」という回答が増えており、なめがた地域医療センターの規模縮小が影響していると考えられる



5つの重点プロジェクト

⑤情報発信で日本一プロジェクト

基本目標11:全市民が情報発信源となり、情報発信日本一の市を目指す

- ・ エリア放送を活用した情報発信と人材育成
- ・ エリア放送の防災、行政情報の見やすさと市民認知度の向上
- ・ 光ファイバー網の利活用
- ・ 誰一人取り残さない情報発信とシティプロモーション活動の推進
- ・ 簡単確実に入手できる防災・防災情報の提供

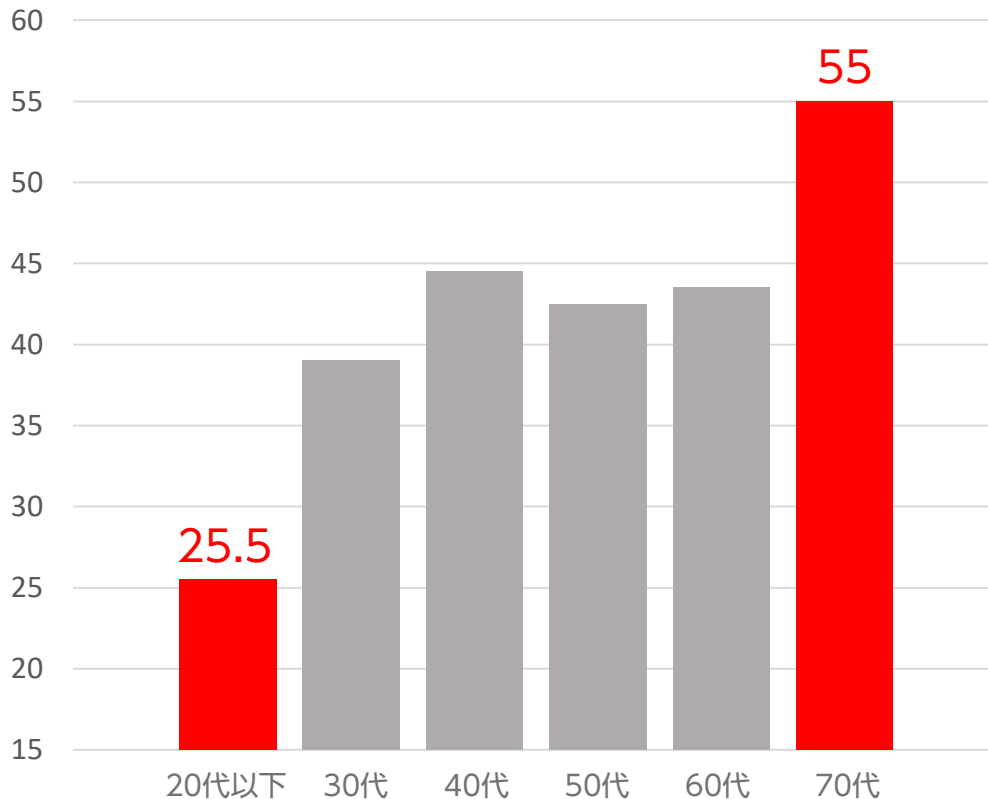




補足：行方市民意識調査結果(R2実施)より

Q：情報伝達について、市からの情報が十分に伝わっていますか？（年代別内訳）

十分伝わっている・伝わっていると答えた人の割合



年代差が激しい



市民の多様なニーズに合わせた情報
発信を心がける必要がある



(1) 行方市総合戦略改定版(案)について

☐ 経過について

☐ 概要について

☒ 今後のスケジュール



○11月22日(月) 行方市議会報告予定 ⇒ 策定

※修正がある場合は、11月15日(月)までに事務局までメールにてご連絡ください。

○12月以降 市民への周知

- ・ 手法
 - ・ 市報、なめテレ、HP、区長会などの各種団体、小中学校、市民説明会等